

日本油化学会は、その前身の日本油化学協会が1951年に創設されて以来、学会誌として「油脂化学協会誌（1955まで）」、「油化学（1995年まで）」、「日本油化学会誌（2001年まで）」を発行し、油脂産業に関する先進的技術論文の典拠でありつづけるべく研鑽を続けてまいりました。しかし、日本油化学会が担う研究領域が“油化学”から環境、資源、健康などの研究分野に広がってきたことから、2001年に日本油化学学会誌は学術情報誌である「オレオサイエンス」、原著論文誌である「Journal of Oleo Science (JOS)」として新たに創刊され、雑誌の名称に用いられている“油化学”はより広い研究領域を指す“オレオ (Oleo)”に改められました。そして現在まで、オレオサイエンスはライフサイエンスからマテリアルサイエンスまでの広いエリアをカバーする総合学術雑誌に発展してきました。オレオサイエンスに毎月掲載される幅広い内容の特集記事は、本誌編集委員が読者の興味に応えるよう厳選したテーマの中から、各分野のエキスパートに執筆依頼を行い、作成されています。

